

平成 27 年 7 月 15 日

南の風 138

南部ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

原田 茂先生のクリニックに参加しました。

東京の中学生女子が対象でした。原田 茂先生の紹介を簡単にしておきます。

お生まれは、1944・10・15、御年71歳になられます。(めっちゃめっちゃお元気です。)

近畿大学附属高等学校から日本体育大学に進み、選手として活躍されました。卒業後、樟蔭東高等学校に赴任され、全国大会でのタイトル獲得に貢献されました。後に樟蔭東女子短期大学の監督を務め、ここでもインカレ優勝に導かれました。1983年～1984年には、女子全日本代表のヘッドコーチを務められました。1985年のユニバーシアード福岡大会では、日本代表監督として銅メダルを獲得されました。

その後、日本バスケットボール協会理事と強化本部長を務められ、エンデバー組織を構築され、全体のまとめ役として貢献されました。また、2005年より大阪府バスケットボール協会の会長も務められています。

簡単にご紹介しました。

そして原田先生とえば、何と言っても『HARADA,S バスケットボールテクニクス』です。昭和61年6月に発行されました。現在入手は困難かと思えます。(興味ある方は連絡ください。)

この本から私は、本当にたくさんのことを学ばせていただきました。まえがきのところを少し紹介します。以下抜粋です。

「バスケットボールに限らず、全てのスポーツにおける国際競争に伍していくためには、幼い時期からの正しい基本技術訓練から指導を始めなければならないと思います。基本技術をマスターさせる最も適当な時期は、小・中学校の時代からだと思います。そうした早い時代に、正確・確実な基本動作を指導しなければ、我が国の国際舞台での活躍は望めないでしょう。」

そして、私がお話しをさせていただいた時に、先生は次のようなことも仰っていました。

「ある指導者は、日本は体格(身長や身体の大きさ)では世界に劣る。だから走力をつけて走り勝つことが必要であるという。また、ある人はディフェンスを強化して失点を少なくし、スリーポイントの技術を磨き、確率を上げることが大切という。私は間違いではないと思うが、それではユーロやアメリカは速攻をやりませんか? やりますよね。スリーポイントの練習はやりませんか? やりますよね。日本が世界に伍していくには、**スキルの緻密さの追求**こそが大切です。また、**理に適ったプレーの追求**に尽きると思います。日本人のよさ(勤勉で丁寧に物事に取り組むこと)をバスケットボール界全体で確認し取り組んでいくことが必要です。」

お話しを聞いていて、目からうろこでした。クリニックでもそうなのですが、原田先生の指導は常に理論に裏打ちされています。ぶれることはありません。フィギアエイトの運びからパス及びドリブルのエントリーにしても、理に合っているのです。ですから分かり易く、ミニバスにもすぐに取り入れることが出来るのです。 次号に続きます。